

# お客様ご相談窓口一覧表

修理サービスや製品についてのご相談は機種名をご確認の上、お買い上げの販売店または下記のご相談窓口にご依頼ください。

ご転居や贈答品などでお困りの場合は、下記のお近くの窓口にご相談ください。名称、所在地、電話番号は、変更する場合がありますのでご了承ください。

北海道地区	札幌支店 札幌サウス支店 札幌北支店 旭川支店 帯広支店 釧路支店	札幌白石区平和通16丁目南1-19 (011)864-6180 苫小牧市電通1-6-30 旭川市永山6条6丁目 帯広市西四条南2丁目 釧路市中央町2-5 北見市三輪町547-6	☎003 ☎004 ☎079 ☎080 ☎085 ☎090	☎(011)864-0440(代表) ☎(011)864-6631 ☎(0188)45-2228(代表) ☎(0166)47-2506(代表) ☎(0155)25-7548(代表) ☎(0154)24-4191(代表) ☎(0157)36-6405(代表)
東北地区	青森支店 秋田支店 弘前支店 仙台支店 仙台サウス支店 郡山支店 山形支店 盛岡支店 いわき支店	青森市古館大柳55-1 青森市古館大柳55-1 秋田市泉金の町2-2 八戸市赤市字赤市55 弘前市福田元65 仙台市宮城野区日ノ出町1-7-32 仙台市宮城野区日ノ出町1-7-32 郡山市崎町1-24 山形市南原町3-7-11 盛岡市門字赤沼2 いわき市好間町下好間字洗井14-1 水沢市佐倉河字後樋108-3	☎030 ☎030 ☎010 ☎031 ☎036 ☎983 ☎983-02 ☎990 ☎020 ☎970-11 ☎023	☎(0177)42-8255(代表) ☎(0177)45-2971(代表) ☎(0188)64-5671(代表) ☎(0178)24-5289(代表) ☎(0172)28-3910(代表) ☎(022)235-3181(代表) ☎(022)235-3198(代表) ☎(0249)52-6955(代表) ☎(0236)42-3255(代表) ☎(0196)22-4791(代表) ☎(0246)36-7870(代表) ☎(0197)25-4835(代表)
関東地区	東京支店 東京サウス支店 水戸支店 大宮支店 つくば出張所 横浜支店 横浜サウス支店 立川支店 高崎支店 高崎サウス支店 宇都宮支店 宇田支店	北区豊島8-4-8 北区豊島8-4-8 水戸市見川町2131-926 千葉市花見川区常盤本郷4-7-2 千葉市青野町1丁目332-6 つくば市松代4-9-16 横浜市戸塚区原宿町1137-7 横浜市戸塚区原宿町1137-7 立川市西砂町1-66-13 中目黒区五反田3-0-1 山中ビル1F 高崎市間屋町西1-3-22 高崎市間屋町西1-3-22 宇都宮市藤原町2313 太田市高林2375	☎114 ☎114 ☎310 ☎262 ☎330 ☎305 ☎245 ☎245 ☎190 ☎400-01 ☎370 ☎370 ☎321 ☎373	☎(03)3927-1151(代表) ☎(03)3911-1131(代表) ☎(0292)41-2172(代表) ☎(043)274-1145(代表) ☎(046)15-1231(代表) ☎(0298)56-5585(代表) ☎(045)852-4008(代表) ☎(045)852-4802(代表) ☎(0425)31-4271(代表) ☎(0552)79-5121(代表) ☎(0273)61-4806(代表) ☎(0273)63-8955(代表) ☎(0286)32-5105(代表) ☎(0276)38-6571(代表)
信越・北陸地区	新潟支店 新潟サウス支店 新潟東支店 長岡支店 上松支店 金沢支店 金沢サウス支店 富山支店 富井支店	三条市曲淵3-2-15 三条市曲淵3-2-15 新潟市江南1-6-41 長野市大豆島5312 新井市上戸倉田100 松本市笹賀5825-1 上田市国分1-3-28 城満ビル1F 金沢市古府1-203 金沢市古府1-203 富山市大東東町1-4-16 稲場ビル1F 福井市和田東21街区6	☎955 ☎955 ☎950 ☎381 ☎444 ☎399 ☎386 ☎920-03 ☎920-03 ☎539 ☎910	☎(0256)32-2121(代表) ☎(0256)32-2129(代表) ☎(025)286-9131(代表) ☎(0262)21-5111(代表) ☎(0255)73-7511(代表) ☎(0263)26-0051(代表) ☎(0268)26-5011(代表) ☎(0762)40-0567(代表) ☎(0762)40-8055(代表) ☎(0764)22-0567(代表) ☎(0776)23-0567(代表)
東海地区	名古屋支店 名古屋サウス支店 静岡支店 静岡サウス支店 津支店 津サウス支店 浜松支店 浜松サウス支店	名古屋港区入場1-1903 名古屋港区入場1-1901 静岡市高松2-15-30 静岡市東町2-17 津市高茶屋小森町3103-1 浜松市金折町稲荷64-2 沼津市神田町7-26 岡崎市大平町沢添49	☎455 ☎455 ☎422 ☎400 ☎514 ☎435 ☎410 ☎444	☎(052)383-3330(代表) ☎(052)384-5670(代表) ☎(054)238-0005(代表) ☎(0582)47-3661(代表) ☎(0592)34-8471(代表) ☎(053)425-3572(代表) ☎(0559)24-0010(代表) ☎(0564)25-0275(代表)
近畿・四国地区	大阪支店 大阪サウス支店 京都支店 京都サウス支店 高知支店 高知サウス支店 徳島支店 徳島サウス支店 福知山支店 福知山サウス支店 豊後支店	吹田市南金田1-8-47 吹田市南金田1-8-47 高松市上福岡町2015-3 京都市伏見区竹田中島町14 姫路市町坪中1町275-1 彦根市高宮町2173 高知市鶴部276 徳島市名東町3-257-1 福知山市和久寺町308 福知山市和久寺町4-678-1 豊岡市幸町4-4	☎564 ☎564 ☎760 ☎612 ☎670 ☎522-02 ☎780 ☎770 ☎620 ☎731 ☎668	☎(06)380-2111(代表) ☎(06)386-5670(代表) ☎(0878)35-1711(代表) ☎(075)643-2002(代表) ☎(0792)34-2911(代表) ☎(0749)24-6239(代表) ☎(0888)40-1400(代表) ☎(0886)31-4048(代表) ☎(0773)22-0827(代表) ☎(089)27-8634(代表) ☎(0796)24-4107(代表)
中国地区	広島支店 広島サウス支店 岡山支店 岡山サウス支店 米子支店 米子サウス支店 福山支店 福山サウス支店	広島市西区大宮1-17-17 広島市西区大宮1-17-17 岡山市底辺35-103 米子市米久美町235-1 福山市春日町7-9-25 福山市春日町5-6-37 出雲市塩治町978 大賀ビル1F	☎733 ☎733 ☎700 ☎663 ☎745 ☎721 ☎693	☎(082)238-3912(代表) ☎(082)237-6575(代表) ☎(086)243-7751(代表) ☎(0859)33-8157(代表) ☎(0834)28-8634(代表) ☎(0849)45-2367(代表) ☎(0853)21-8898(代表)
九州地区	福岡支店 福岡サウス支店 北九州支店 北九州サウス支店 熊本支店 熊本サウス支店 長崎支店 長崎サウス支店 宮崎支店 宮崎サウス支店	福岡市博多区東比恵2-2-40 福岡市博多区東比恵2-2-40 北九州市小倉北区豊登2-6-4 鹿児島市田中7-16-5 熊本市健康1-31-7 西彼杵郡時津町元村郷1202-2 宮崎市霧島3-59-2 大分市東浜1-13-16	☎812 ☎812 ☎803 ☎890 ☎862 ☎851-21 ☎880 ☎670	☎(092)474-5771(代表) ☎(092)474-6001(代表) ☎(093)592-8611(代表) ☎(099)81-1321(代表) ☎(096)367-7361(代表) ☎(0958)82-7710(代表) ☎(0985)29-1680(代表) ☎(0975)58-1030(代表)
沖縄地区	沖縄出張所	浦添市大平392-1	☎901-21	☎(098)879-0677(代表)

本社・工場 三條市東新保7-7 ☎955 ☎(0256)32-2111(大代表)  
柏崎工場 柏崎市宝町2-58 ☎945 ☎(0257)23-5175(代表)  
長岡工場 長岡市下条町倉1浦1069 ☎940-11 ☎(0258)22-2121(代表)

株式会社 **コロナ**

101W00577-04 H-④

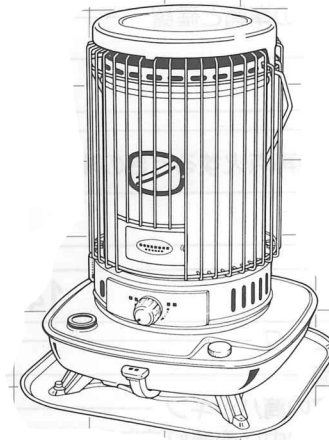


# コロナ

## 自然通気形開放式石油ストーブ

# SL-111・SL-221

# 取扱説明書



日本工業規格

このたびはコロナ石油ストーブ(SL形)をお買い上げくださいましてありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。まちがった取扱いは思わぬ事故や故障の原因となります。

なお、お読みになった後も取扱説明書は保証書と共に必ず保存してください。



株式会社 **コロナ**

# 目次

<b>1. 特に注意していただきたいこと</b>	1~4
<b>2. 使用する場所</b>	5
●安全に使用するために	5
●効果的に使用するために	5
<b>3. 各部の名称</b>	6~7
●外観図	6
●構造図	7
●主な構成部品	7
<b>4. 使用前の準備</b>	8~10
●開こんと部品のセット	8
●燃料	9
●給油	10
●点火前の準備と確認	10
<b>5. 使用方法</b>	11~14
●点火	11
●炎の調節	12
●消火	13
●消火後再点火するときの注意	14
<b>6. 安全装置</b>	14
<b>7. 日常の点検・手入れ</b>	14~18
●ストーブとストーブ周囲の点検	15
●しん案内筒	15
●しん	15
●対震自動消火装置	16
●点火ヒータ	17
●乾電池	17
●しん案内筒パッキン	18
●油タンク内に変質灯油や不純灯油、水が混入した場合	18
<b>8. 定期点検</b>	18
<b>9. 故障・異常の見分け方と処置方法</b>	19
<b>10. 部品交換のしかた</b>	20~23
●しんの交換	20
●点火ヒータの交換	23
<b>11. 保管（長期間使用しない場合）</b>	23
<b>12. 仕様</b>	24
<b>13. アフターサービス</b>	25
●修理を依頼するときは	25
●無料修理期間経過後の修理	25

# 1. 特に注意していただきたいこと

石油ストーブの使用、灯油の取扱いで、次の点は特に注意してください。

- 灯油（JIS1号灯油）を必ず使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は、火災の原因になりますので絶対に使用しないでください。

## ガソリン厳禁



- カーテンや燃えやすいもののそばなどでは使用しないでください。

## カーテン、可燃物注意



- ほこりの多い場所では、使用しないでください。

- 給油は、必ず消火してから行ってください。
- こぼれた灯油は、よくふきとってください。
- 給油口ふたは確実に締めてください。

## 給油時消火



- 正常に燃焼していることを確かめてください。

（しんが上がりすぎたり、燃焼筒がずれていたりすると異常燃焼し危険です。）

## 正常燃焼の確認

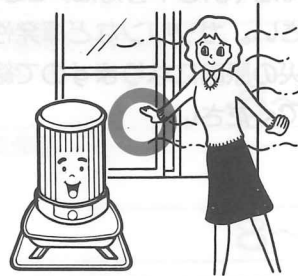


# 1.特に注意していただきたいこと

## 換気必要

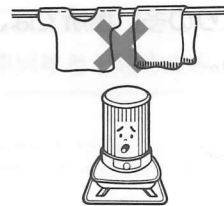
- 使用中は必ず1時間に1～2回（1～2分）換気して、新鮮な空気を補給してください。換気せずに使用しつづけないでください。  
（酸素が不足すると、不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して危険です。）

### ときどき換気



- 衣類の乾燥などには使用しないでください。  
（衣類が落下して火がつき、火災になることがあります。）

### 衣類の乾燥厳禁



- 火のついたまま持ち運ばないでください。  
（転倒すると危険です。）

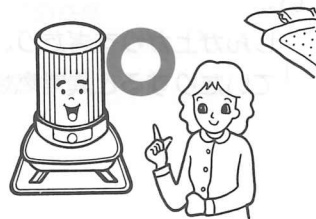
### 燃焼中移動禁止



- 寝るときや外出するときは、必ず消火してください。

### 寝るとき消火

- お部屋を離れるときや、人目の届かないところでは、必ず消火するよう心掛けてください。



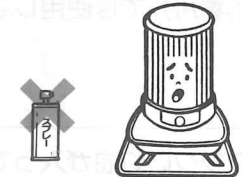
- 万一異常燃焼を起こしたときや、緊急の場合でもあわてずにしんを下げてください。

### 異常時、あわてず消火

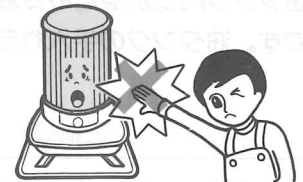


- スプレー缶をストーブの上や近くに放置しないでください。  
熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。

### スプレー缶厳禁



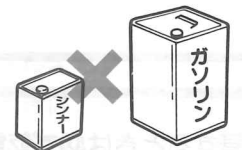
- 使用中は図の赤色部分は高温になりますので、さわらないでください。  
（さわるとやけどをしますので、小さいお子様のいる家庭では特に注意してください。）



- ストーブには、水をかけないでください。  
（水がかかると外炎筒、上面板のほうろが割れることがあります。）



- ストーブの近くで、ガソリン・シンナーなど可燃性の危険物を使用しないでください。  
（引火のおそれがあります。）

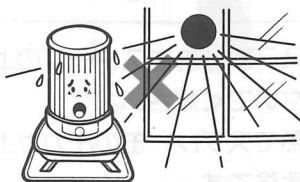


## 1.特に注意していただきたいこと

- 水平な場所で使用してください。
- 振動の激しいところでは、使用しないでください。



- 直射日光の当たる場所や、温度の高い場所（例：熱のこもる場所、他の熱源の影響を受ける場所）では使用しないでください。



- 油タンクに灯油が入っているのに、火が消えたり、火力が大きくならないときには、油タンク内に水やごみが混入している証拠です。油タンクの手入れを行ってください。

水・ゴミを抜きとる



- 日常の点検・手入れは必ず行ってください。（14ページ参照）



- 故障、破損したものは使用しないでください。

（不完全な修理は危険です。お買い求めになった販売店に連絡してください。）



販売店に連絡

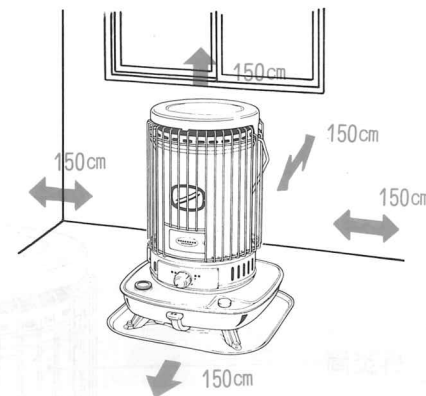
- 保管するときは必ず乾電池を取りはずしてください。

## 2.使用する場所

石油ストーブを安全に使用するためには、場所の選定が大切です。

### 安全に使用するために

- 右図に示す寸法内に、燃えやすいものや、障害物のないようにしてください。特にカーテンなどがストーブにふれないようにしてください。
- 水平で安定のよい、床の上で使用してください。
- 可燃性ガスの発生しない場所又はたまらない場所で使用してください。
- 窓の凍結などによって、換気が十分行えない場所では、使用しないでください。



### ご使用をさけていただきたい場所

- 部屋の出入口など人の通るところや、風のアたる場所。
- マントルピースなどストーブが囲われる場所。
- 不安定な物を乗せた棚などの下。
- 直射日光のアたる場所、温度の高い場所やほこりの多い場所、温室、養蚕室など人のいない場所。

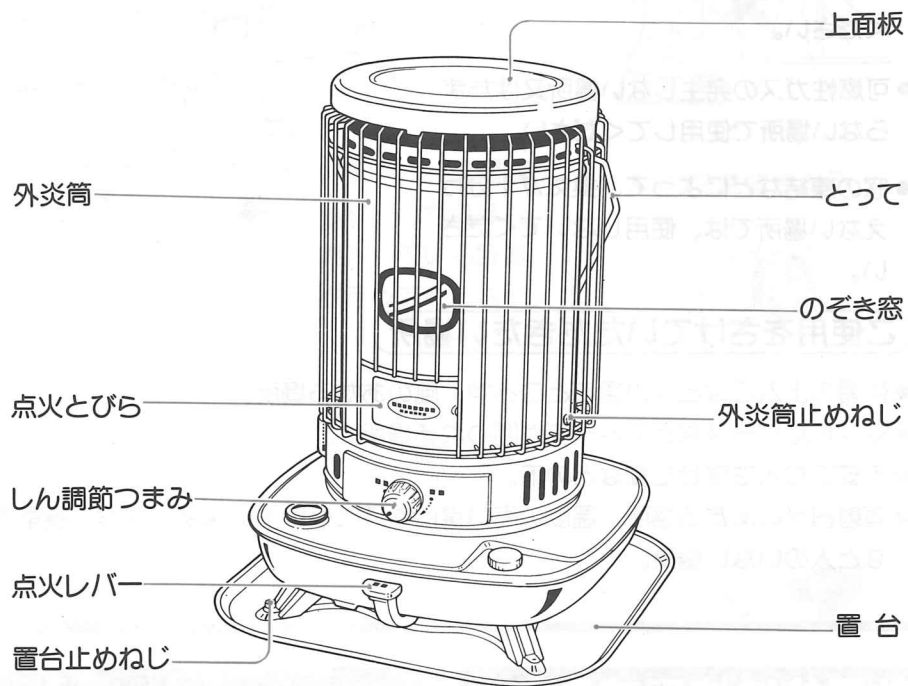
### 効果的に使用するために

- 冷気の入ってくる方向、例えば窓側などに置くと、冷気がストーブで暖められ上昇対流しますので、効果的です。ただし、出入口でぶつかる場所や人がつまずくところは危険ですから避けてください。
- 部屋の保温を工夫し、部屋の温度の調節を心がけましょう。
- 太陽熱を利用しましょう。昼間太陽が照っているときは、レースのカーテンも開けて太陽熱を十分取り入れ、最大に利用して暖房時間を短縮しましょう。

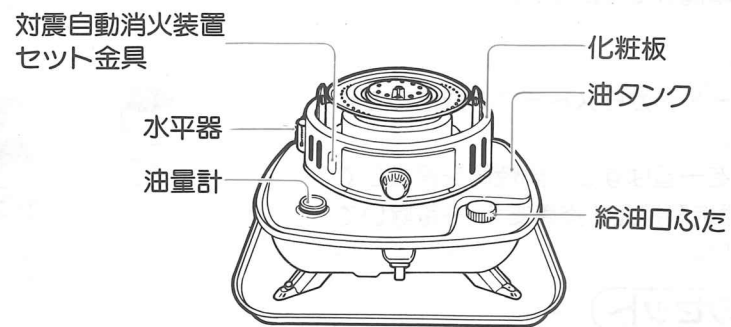


# 3.各部の名称

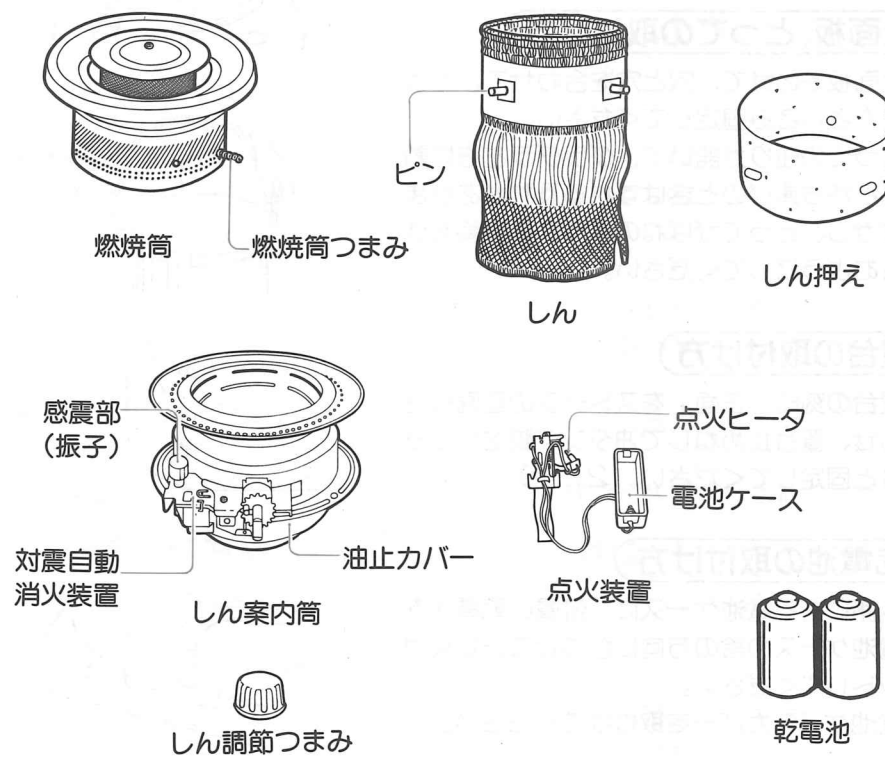
## 外觀図



## 構造図



## 主な構成部品



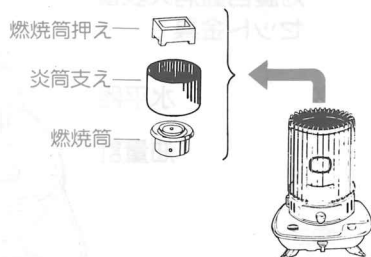
# 4.使用前の準備

## 開こんと部品のセット

次の順序で準備してください。

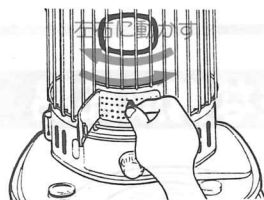
### 開こん

- ダンボール箱からストーブを取出してください。
- とつてを一旦はずし、燃烧筒を保護している「燃烧筒押え」「炎筒支え」を取除いてください。



### 燃烧筒のセット

- 点火とびらを開いて、燃烧筒つまみを左右に動かし、燃烧筒がしん案内筒に正しく据わっていることを確認してください。



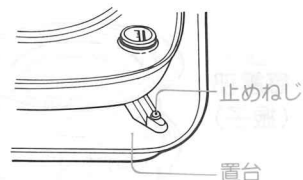
### 上面板、とつての取付け方

- 上面板をのせて、穴と穴を合わせて、とつてをさしこみ固定してください。
- とつての曲りが開いて、グラグラ左右に動くを持ち運びのときはずれる恐れがありますから、とつてがばねのように外炎筒をはさむようにしてください。



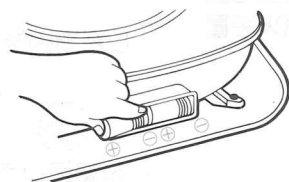
### 置台の取付け方

- 置台の刻印「正面」をストーブの正面に合わせ、置台止めねじで油タンク脚をしっかりと固定してください。(2カ所)



### 乾電池の取付け方

- 後側にある電池ケースに、付属の乾電池を電池ケースの絵の方向に合わせて正しくセットしてください。
- 電池ケースカバーを取付けてください。



## 燃料

### 燃料

- 灯油 (JIS 1号灯油) を必ずお使いください。
- 変質灯油、汚れた油、水の混じっている灯油などは、絶対に使用しないでください。灯油は、必ず火気、雨水、ごみ、高温及び直射日光を避けた場所に保管してください。

### 変質灯油・不純灯油とは…

- 昨シーズンより持越しの灯油



- 長期間日光にあたる所に保管した灯油



- 容器のふたを開けて長期間保管した灯油



- 水・ゴミや灯油以外の油がほんのわずかでも混入した灯油



- 特に白いポリ容器で保管すると、変質しやすくなります。
- 極度に変質したものは、黄色味がかったり、すっぱいにおいがします。

### 変質灯油や不純灯油を使用すると…

- 油の程度にもよりますが、1日～30日のご使用で、しんに多量のタールがたまって、しんが下がらなくなったり、炎が大きくならなかつたり、激しいにおいがしたり、異常燃焼したりします。
- 水の混入した灯油を使用しますと、油タンクに油が残っていても火力が小さくなり火が消えてしまいます。
- ガソリン・シンナーなど揮発性の高いものを使うと火災の原因になります。

### 万一変質灯油や不純灯油を使ったときは…

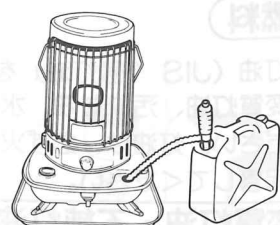
- 油タンク内の灯油を抜き、良質の灯油で2～3回洗ってからご使用ください。(悪い油が残っていると再発します)
- しんの手入れをしてください。(15ページ参照)
- しんの手入れをしても効果のないときは、しんを取替えてください。しんの取替えは最寄りのコロナ製品取扱い販売店にご相談ください。

## 4.使用前の準備

### 給油

#### 給油の際の手順と注意

- 給油は必ず消火してから行ってください。
  - 1. 給油口ふたを左にまわして取りはずしてください。
  - 2. 市販の給油ポンプなどを使用し、油量計の針が「満」をさすまで給油してください。
- 「満」以上に灯油を入れないようにご注意ください。
  - 給油口ふたは、確実に締めてください。
  - こぼれた灯油は、よくふきとってください。



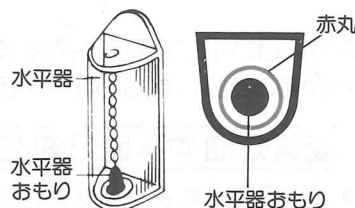
### 点火前の準備と確認

#### 水平の確認

ストーブが水平に設置されていることを確認してください。

水平器のおもりが赤丸内であればほぼ水平です。

(傾斜した場所では、対震自動消火装置が正しく作動しません。)

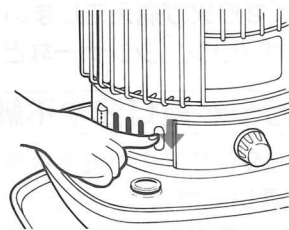


#### 対震自動消火装置のセット

対震自動消火装置をセットしてください。セットしなければ使用できません。

化粧板内のセット金具を下に押ししてセットして、しん調節つまみを「燃焼」の方向に止まるまでまわしてしんを上げると、自動的に対震自動消火装置はセットされます。

●使用中は、セット金具を押し上げないでください。対震自動消火装置が作動します。



## 5.使用方法

### 点火

■次のことを確認してください。

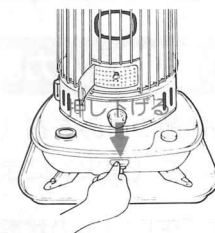
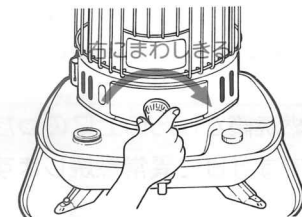
- 対震自動消火装置がセットされているかどうか。
- 燃焼筒が正しく据わっているかどうか。燃焼筒のつまみを持って左右に、2~3回動かして、しん案内筒に正しく据わっているかを確認してください。



- 初めてご使用になるときや、しんの手入れ、しんの交換、から焼きなどをしたときは、給油後20分以上放置して、しんに十分灯油がしみるまでおまちください。
- 初めてご使用になるとき、点火後しばらく多少のにおいがしますが、これは器具に付着している油などが焼けるときのもので、異常ではありません。

#### 電池点火の場合

1. しん調節つまみを「燃焼」の方向(右方向)にまわしきって、しんをいっぱい上げてください。  
しん調節つまみをまわすとき「カチカチ」と音がして重いのは、対震自動消火装置が自動的にセットされているためです。一度セットされると、しん上下は軽く、音もなくなります。
2. 点火とびらを開き、点火レバーをゆっくり押し下げてください。燃焼筒が傾き点火します。  
点火を確認したらレバーをゆっくりもどしてください。



- 点火レバーを強く押しすぎると点火ヒータがしんにくい込みすぎて白煙がでて点火しません。このようなときは点火レバーを少しもどすと点火します。
- 点火レバーの押しが弱すぎると点火ヒータがしんとどかず点火しません。

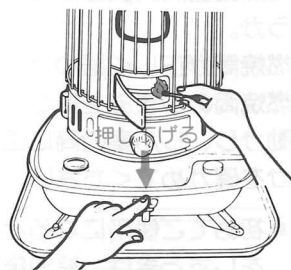
## 点 火

### マッチ点火の場合

—— 万一点火ヒータが使えないとき

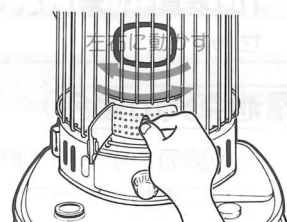
1. しんを一杯にあげて、点火とびらを開いてください。
2. 点火レバーを押して燃焼筒を傾け、マッチで点火したら点火レバーをゆっくりもどしてください。

- マッチの粕は中へ落さないようにしてください。



### 点火後の確認

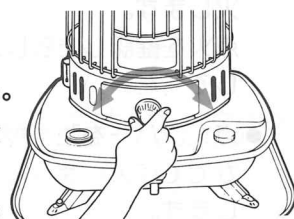
点火後は必ず燃焼筒つまみを持って、左右に軽く動かして、燃焼筒の据わりを確かめて点火とびらを閉めてください。



- 燃焼筒がしんの上ののつたりして、正しく据わっていないと、最初から赤火ですすけて異常燃焼します。正しく据付けてください。

## 炎の調節 (火力調節)

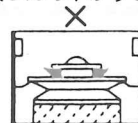
- しん調節つまみを右 (燃焼) にまわすと火力は強くなり、左 (消火) にまわすと火力は弱くなります。
- 必ず「正しい炎の状態」に調節してご使用ください。
- 点火後、次第に火力が強くなって、15分位たつと最高の火力で安定します。  
炎が勢よく環状になり、明るい白光炎で燃えるのが最良火力です。



## 炎の調節

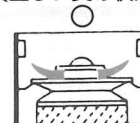
- 火力調節は炎の状態を見ながら下図の〔正しい炎の状態〕に調節し、〔しんの下げすぎ〕や〔しんの上げすぎ〕の状態にならないようにしてください。

〔しんの下げすぎ〕



皿火より炎が出ない

〔正しい炎の状態〕



炎の長さは1~3cm

〔しんの上げすぎ〕

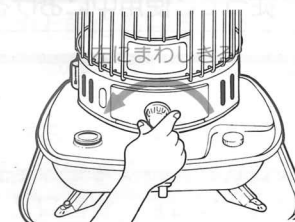


内壁に炎が当たる

- 点火後15~20分たつて、部分的な炎の伸びがあるときは、燃焼筒つまみをもって左右に軽く2~3回ゆさぶるように動かしてください。それでも炎が伸びてきたら、しん調節つまみをゆっくり左 (消火) にまわし〔正しい炎の状態〕 (上図参照) に調節してください。
- 一旦弱火でお使いになって、再び火力を大きくするときは、炎を見ながらしん調節つまみをゆっくり右 (燃焼) にまわして、炎の先端が、外炎筒の内壁にあたらぬ位置でとめてください。いきなり、しん調節つまみをまわしきってしまうと、炎が大きくなりすぎて、炎の先端が外炎筒の内壁にあたり、すすのでる事があります。
- 必ず炎の大きさを見ながらしん調節つまみをゆっくりまわして調節してお使いください。

## 消 火

- しん調節つまみをゆっくりと「消火」の方向 (左方向) に止まるまでまわして、しんを下げて消火してください。それ以上おりにまわさないでください。(約1回転しかまわりません。)



- 3~5分で消えます。必ず、火が消えたことを確かめてください。
- セット金具を押し上げたり、器具をゆさぶったり、傾けたりして消火しないでください。
- 万一対震自動消火装置が作動した場合は、しん調節つまみをまわして消火した時にくらべ、消火時の臭気が強くなります。
- しんの上端部に炭化物などが多く付着していると、対震自動消火装置が作動しても、しんが完全に下がりきらないで消火しないことがありますので、対震自動消火装置が作動したときも必ず、しんが完全に下がって消火したことを確認してください。



## 5.使用方法

### 消火後再点火するときの注意

消火後、すぐに再点火すると燃焼筒の温度が高くなっているため、においがします。燃焼筒が冷えるまで約5分待ってから点火してください。

## 6.安全装置

### 対震自動消火装置

地震や強い衝撃を受けたときは対震自動消火装置が作動して自動的に消火します。

化粧板内のセット金具を下に押ししてセットして、しん調節つまみを「燃焼」の方向に止まるまでまわしてしんを上げると、自動的に対震自動消火装置はセットされます。

- 対震自動消火装置は、JISに定められた100~200ガルの振動により作動するように調整してあります。
- 従ってご使用中における弱い日常的な振動、傾斜では作動致しません。

## 7.日常の点検・手入れ

点検・手入れは、消火後ストーブが十分冷えてから、行ってください。

- 対震自動消火装置を分解したり、油でふいたりしないでください。
- しんの標準出寸法は10mmです。切ったり、長く引出したりしないでください。
- しん案内筒・油タンク・燃焼筒は変形させたり、傷をついたりしないよう取扱いに注意してください。

## 7.日常の点検・手入れ

### ストーブとストーブ周囲の点検(使用ごと)

1. 置台に油たまりがないか、油タンクは油漏れや油のにじみがないか、ときどき点検してください。また給油の際にこぼれた灯油は、必ずふきとってください。
2. ほこりや汚れをそのままにしておきますと、油がしみたりして危険です。ストーブは、いつも清潔にしてお使いください。
3. ストーブの周囲は、常に整理・清掃し、燃えやすいものを置かないでください。

● 油漏れのある場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

### しん案内筒(月1回)

長くご使用になりますと、しん案内筒の平の部分に燃え粕などがたまって、燃焼筒の据わりを悪くして、燃焼を阻害することがあります。このようなときには、外炎筒セットをはずして燃え粕などを掃除してください。

燃え粕などをしん案内筒のミゾに落さぬように、しんの先端をしん案内筒の平の部分に合わせ、ドライバーの先で、燃え粕などを削り取るようにして取除いてください。



### しん(月1回)

長期間のご使用や変質灯油をお使いになると、しんの上部にカーボンやタールや燃え粕が付着して、火のまわりがおそくなったり、燃焼が悪くなる場合があります。このような状態で、無理にお使いになると

- しんに着火しにくい
- 不快なおいがる
- 火力が弱い
- しん上下の操作が重くなる
- 点火してから完全燃焼まで時間がかかる
- 対震自動消火装置が作動しても、しんがスムーズにさがらない。

など、色々とも具合の悪いところが出て、ストーブの性能を十分発揮できなくなります。このようなときには、しんの手入れをしてください。

### しんの手入れのしかた

しんの手入れの際は、においがしますので、窓をあけるなどして換気してください。

1. 油タンクの灯油を抜いてください。
2. ストーブに点火し、最良火力で燃焼させます。
3. そのまま、灯油がなくなって、火力が小さくなるまで放置します。

## しん

4. 火力が小さくなったら、しんを一杯に上げ、自然に火が消えてしまうまで、  
燃焼してください。
5. 変質灯油や不純灯油が混入して、しんが固くなったときは1度位の手入れ  
をしてもカーボンが焼け切れませんので2~3回しんの手入れを繰返さな  
ければなりません。  
※このようにすると、しんが赤熱して、しんに付着したカーボンやタールが燃  
えてしまいます。

### 次のようなときには新しいしんに取替えてください。

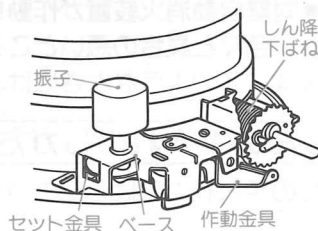
1. しんの先端は白く柔らかいが、しんの元の方は固くなっているとき。  
(しんの手入れを長くしなかったり、変質灯油や不純灯油を使用した場合に、  
このようなことがあります)
2. しんの手入れを行っても効果がなく、火力が大きくなならないとき。
3. しんの先端が消耗して、うすくなったり短くなったり、凹凸になっている  
とき。

#### 特に注意していただきたい事項

しんの手入れ後のご使用は、給油後20分以上待ってしんに十分灯油がしみ  
込んでから点火してください。  
しんによく灯油がしみ込まないうちに点火しますと、火力が不十分だっ  
たり、しんをいためる原因になります。

## 対震自動消火装置(月1~2回)

1. 1か月に1~2回、次のように点検を行ってください。
  - ①乾電池を抜きとる。
  - ②しん調節つまみを「燃焼」の方向にまわ  
して、しんを上げる。
  - ③油タンクを前後に強く動かし、対震自動  
消火装置が作動することを確認してくだ  
さい。
2. 感震部にゴミ、異物、ほこりなどが付着  
しますと、感度が悪くなります。



ときどき点検し、汚れていたらやわらかい布で、消火装置をいためないよう  
に、いねいにふきとってください。

## 対震自動消火装置

### 点検・手入れのしかた

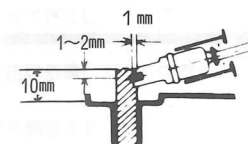
点検する部分	点検周期	点検する内容	点検した結果	処置方法	
対震自動消火装置の作動点検	2回/1か月	ストーブを水平に強く動かし装置を作動させ、しんが最後まで確実に降下することを調べる。	しんが確実に降下しない。	下記の感震部、作動部を点検する。	
感震部	振り子 ベース	1回/2か月	ごみの付着のないことを調べる。	ごみやほこりが付着している。	布きれて、きれいに取除く。 ※感震部は分解したり、油をつけたりしないでください。 感度がかわります。
作動部	セット金具 作動金具 しん降下ばね	1回/2か月	●装置を作動させ、しんが勢いよく確実に降下することを調べる。 ●ごみやほこりが付着して作動部の動きが悪くないか。	ごみやほこりが付着して動きが悪く、しんが確実に降下しない。	ごみやほこりをきれいに取除く。
しん	1回/1か月	しんの上下がスムーズにできるか。タールの付着があるか調べる。	しんが汚れてスムーズに上下しない。	しんの手入れをする。それでもだめならしんを交換する。	
消火部	しん案内筒	1回/2か月	スリット穴がごみやタールで塞がれていないか。	塞がれている。	消火装置を作動させた状態で針金などで掃除する。

## 点火ヒータ(月1回)

外炎筒止めねじをはずし、外炎筒セットをはずしてから、点火レバーを押すと、しん案内筒から点火ヒータが出てきます。しんの出が10mmのときに点火ヒータの位置がちょうど良いところに来ようになっています。

しんと点火ヒータの関係図

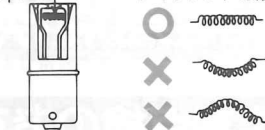
しんを上げたときの寸法



- 点火ヒータのフィラメントが、しんに対して、ちょうど良い位置にないと点火しにくくなります。点火しにくいときは、点火ヒータのフィラメントの変形、断線、しんの間隔を見てください。(右図)
- フィラメントが変形しているときは、マッチ棒などで真直ぐに直してください。
- 直らないものや、断線したものは取替えてください。

フィラメント

フィラメントの形



## 乾電池

- 乾電池が弱くなると、ヒータの赤熱が弱くなり点火しにくくなります。このようなときは新しい乾電池と交換してください。

### しん案内筒パッキン

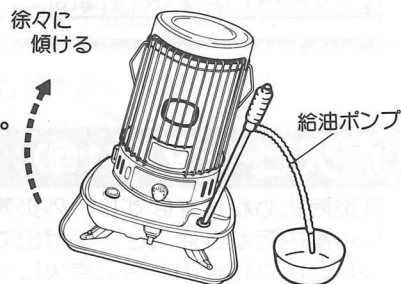
しんを交換するときなど、しん案内筒をはずしたときに、しん案内筒パッキンを点検してください。パッキンがのびたり、切れたり、傷んでひびが入っている場合は取替えてください。

### 油タンク内に変質灯油や不純灯油、水が混入した場合

燃焼しない、火力が弱い、においがする、しんに多量のカーボンやタール状のものが付着してしん調節ができなくなる、油タンク内面が腐食されるなどの原因となります。

#### 処置方法

1. 油タンク内の油を図のように抜き取り、きれいな灯油で2~3回洗ってください。
2. しんの手入れがきかない場合は、新しいしんと交換してください。
3. 良質の灯油を、油量計の針が「満」をさすまで給油してください。



## 8. 定期点検

### 定期点検のおすすめ

長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要です。2シーズンに1回程度、シーズン終了後などに、お買い上げ店又は修理資格者((財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2930)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)又は技術講習会修了者(点検整備士))のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

具合の悪いときは、次の表を参考にして処置してください。不完全な処置は事故のもとになります。おわかりにならないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

原因	現象										処置方法	参照するページ
	点火しない	赤火やすすが出て燃える	消火しない	においがする	炎が立たない	しんが下がらない	炎が大きくならない	しん上下の操作が重い	火のまわりが遅い	ポコポコと火がおどる		
乾電池が弱っている											新しい乾電池と入替える	8
点火ヒータが切れている											点火ヒータを取替える	23
しんの出が少ない											しんを均一に10mm出す	20
しんを出し過ぎている											しんを均一に10mm出す	20
燃焼筒の据わりが悪い											燃焼筒を左右に動かして据わりを直す	11
しんの出が不揃い											しんを均一に10mmに取付け直す	20
火力を小さくし過ぎている											火力を大きくして使用する	12
しん上下機構が故障している											販売店に依頼してすぐ修理する	—
炎が外炎筒の壁にあっている											火力を調節する	12
酸素が不足している											時々換気する	2
変質灯油(汚れた油や、ポリ容器で1年間持ちこした油など)											良質の灯油(JIS1号灯油)と入替える 新しいしんに取替える	18
しんが汚れている しんにタールが溜っている											しんの手入れをする	15
しん案内筒のパッキンが傷んでいる											パッキンを点検し、正しく取付ける	18
しんが水を含んでいる タンクに水が入っている											タンク内の水分を取除き、しんを取替える	18
しんの取付けがしん押えにピッタリしていない											しんを正しく取付け直す	20
ガソリンを使用											良質の灯油(JIS1号灯油)と入替える	18
しんの上に燃焼筒がのっている											しん上下操作を繰返し、燃焼筒を左右に動かして据わりを直す	11



# 10. 部品交換のしかた

不完全な修理、調整は危険ですので、部品の交換、調整が必要な場合には、お買い求めの販売店又は修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)又は技術講習会修了者(点検整備士)〕のいる販売店にご相談ください。

## しんの交換

しんは石油ストーブの生命です。

器具に適合しないしんや、粗悪なしんを使用しますと、性能を十分発揮できないばかりでなく火災や中毒の原因になります。

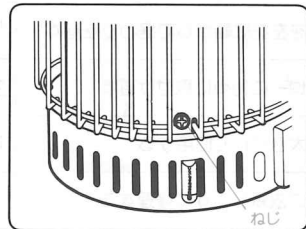
JIS規格の器具適合試験に合格したしんには、このマークが貼ってあります。

しんは、かならず、コロナ純正しん・合格証のついたものをご使用ください。

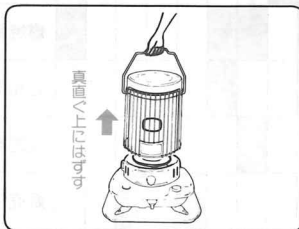


マークの色彩は白地に赤インクで表示されています。

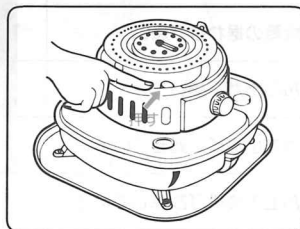
次の順序にしたがってください。



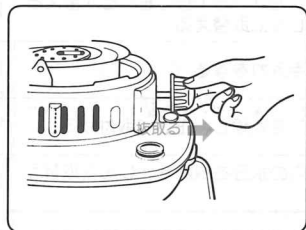
1. 2本の外炎筒止めねじをはずしてください。



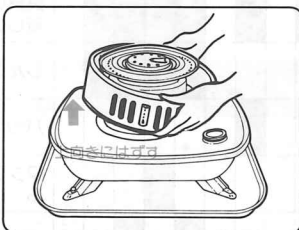
2. とつてを持って、真直ぐ上に引張ると、外炎筒セットがはずれて、しん案内筒、消火装置があらわれます。



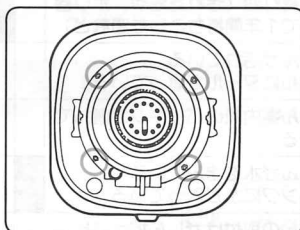
3. 振子を押して消火装置を動作させてください。



4. しん調節つまみを抜き取り……

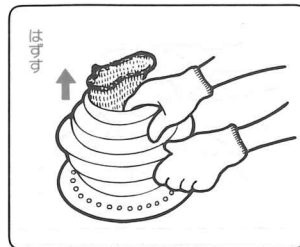


5. 化粧板を上向きにはずしてください。

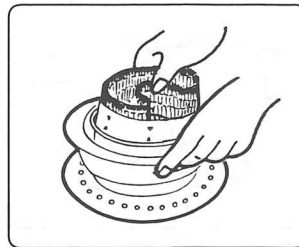


6. しん案内筒を固定してある4個のナットをはずして、しん案内筒を抜き取ってください。しん案内筒上板をいためないよう注意してください。

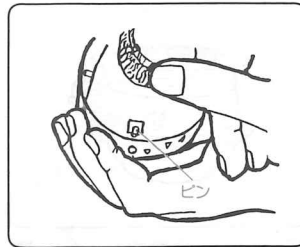
## しんの交換



7. しん案内筒から油止カバーを引抜いてはずしてください。



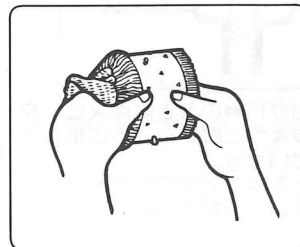
8. しんを内側へ折りたたみながら、はずしてください。しん押えもいっしょにはずしてください。



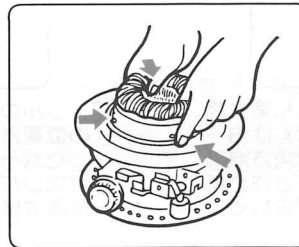
9. 新しいしんのピンを、しん押えの穴3か所へさし込んでください。

手ぶくろをはめるか、または、替しんに付属のプラスチックの保護カバーを油止カバーに付けてはずしてください。しん案内筒パッキンもいっしょに点検してください。

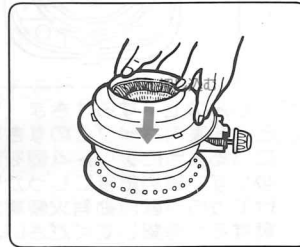
しん押えの「↑UP」の刻印を、しんの上方向に合わせ取付けてください。



10. しん押えのツメに、しんをさすようにして、周り均一に内側へなじませて取付けてください。(しんにしわが出ないように、なじませてください)



11. しん押えに取付けた、しんのピン3本を1か所ずつ内側に押しながら、しん案内筒の斜めのミソの穴に入れてください。内側から3か所のピンを押して確実に穴に入れてください。しん調節つまみを回してしんが上下することを確認してください。

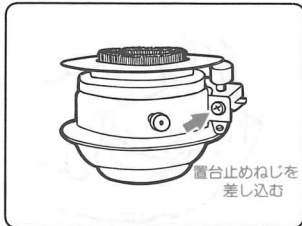


12. 油止カバーの矢印(刻印)を正面に合わせて止まるところまで完全に押し込んで、元通りに取付けてください。



# 10. 部品交換のしかた

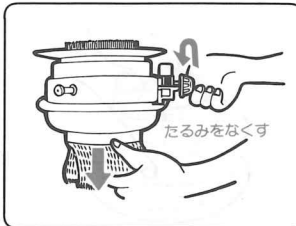
## しんの交換



置台止めねじを差し込む

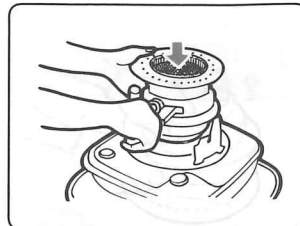
13. セット金具をセットし置台止めねじの1本をはずして消火装置本体の側面の穴に差し込んでください。

セット金具をセットしたままでねじを差し込んでください。

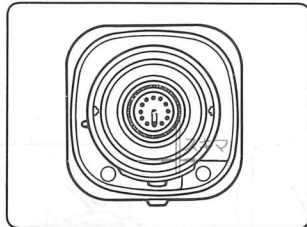


たるみをなくす

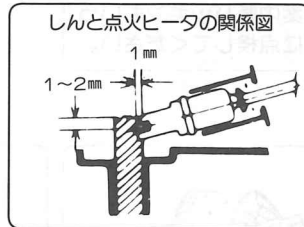
14. しん調節つまみを右方向にまわししんをいっぱいに出した状態のまま、しんにたるみが出ないようにしんの下部を軽く引いて油止カバーのしん押えのツメにしんを差してください。



15. そのまま、しんが上下しないようしん調節つまみをつかんで、油タンクに元通りセットしてください。セットしましたら置台止めねじを必ず抜き取ってください。  
(この置台止めねじは置台の固定に再び使用しますのでなくさないでください。)



16. しんの上下するすきま(しん案内筒としん案内パイプとのすきま)は均一になるようにナット4個を対角方向に少しずつ締め最後にしっかりと締め付けてから対震自動消火装置が正しく作動するか確認してください。



しんと点火ヒータの関係図

17. しんの出が10mmのときに点火ヒータの位置がちょうど良いところに来ようになっています。点火レバーを押し下げて点火ヒータの位置を確認してください。

- しん案内筒の4個のナットは、しん案内筒がピッタリするまで締め付けてください。
- しん案内筒を取付けたら、しんを上下して、しんの先端としん案内筒の面とを合わせて見て、全周均一の高さかどうか確かめてください。
- しんの出寸法が10mm以上になると、点火後、炎が基準以上に大きくなって、すすけたり、消火しない原因になりますから、必ず10mmに揃えてください。
- しんの出寸法を確かめたら、対震自動消火装置の作動を確認してください。
- しん上下の操作が重いとき、又は対震自動消火装置が正しく作動しないときは、
  - ・ しん案内筒が片寄ってセットされています。
  - ・ しんにシワがあったり、しん押えのツメになじんでいませんので6~16の手順に従ってセットし直してください。

## 点火ヒータの交換

まず、乾電池をはずしてから点火ヒータを取替えてください。

1. 外炎筒止めねじ2本をはずし、外炎筒セットをはずしてください。
2. 点火レバーを押し下げると、しん案内筒から点火ヒータが出てきます。点火レバーを押し下したままヒータを左に押しまわしてソケットからはずしてください。
3. 点火ヒータのヒータガードを下側にして、ソケットに取付けてください。



ガードを下にする



## 部品交換は コロナ純正部品 とご指定ください

部品ご入用の際には、コロナ製品取扱販売店で必ずコロナ純正部品とご指定ください。純正部品以外の部品をご使用になりますと、性能が十分にはつきされないばかりか、器具を損傷したり思わぬ事故の原因となります。

## 11. 保管 (長期間使用しない場合)

シーズンオフや長期間使用しないときは、次の要領で手入れを行い保管してください。

### 保管方法

1. ストープをおしまいになるときは、まず油タンク内の灯油をすっかり出してください。中に水分やごみが残ったままになっていますと、油タンクが腐食する原因になります。
2. 塗装部分やほうろう部分は湿った布で汚れを落してから、からふきしてください。
3. メッキ部分は柔らかい布で傷をつけないよう汚れを落してください。
4. ストープの手入れが終了したら、ポリ袋などをかぶせて、ほこりが入らないようにして、乾燥した場所に保管してください。

● 対震自動消火装置を作動させた状態で、必ず乾電池を取り外して保管してください。

来シーズンにお使いになるときは、対震自動消火装置の作動を2~3回繰返し、しんが最後まで下がることを確かめてください。

● 「取扱説明書」も大切に保管してください。

# 12.仕様

## 仕様

### ●自然通気形開放式石油ストーブ

形式の呼び	SL-111	SL-221
種類	しん式・自然対流形	
点火方式	電池点火	
使用燃料	灯油 (JIS 1号灯油)	
燃料消費量	0.50 ℓ/h	0.64 ℓ/h
発熱量	17,250kJ/h {4,120kcal/h}	22,060kJ/h {5,270kcal/h}
油タンク容量	6.0 ℓ	7.0 ℓ
燃焼継続時間	約12時間	約11時間
標準適室	木造20.0㎡(12畳)まで コンクリート28.0㎡(17畳)まで	木造26.5㎡(16畳)まで コンクリート36.5㎡(22畳)まで
外形寸法	高さ553mm 幅460mm 奥行460mm (置台を含む)	高さ598mm 幅460mm 奥行460mm (置台を含む)
質量	10.1kg	11.4kg
しん	種類	普通筒しん
	呼び寸法	内径105mm 厚さ3.5mm
安全装置	対震自動消火装置	
付属品	乾電池 (単一) 2個	

# 13.アフターサービス

## 修理を依頼するときは…

故障・修理については、お買い求めの販売店又は、お近くのコロナお客様ご相談窓口にご連絡ください。

— 修理を依頼される前に —

この取扱説明書をよくお読みのうえ、今一度「故障・異常の見分け方と処置方法」の項 (19ページ) で点検していただき、なお異常のあるときは、保証書を提示のうえ、修理をご依頼ください。

## 無料修理期間経過後の修理

無料修理期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

修理によって性能が維持できる場合は、有料修理致します。

なお、メーカーは販売店からの注文により補修用性能部品を販売店に供給しません。

●石油ストーブの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

(1)この期間は、通商産業省の指導によるものです。

(2)性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。